

1 漢字・語句

学習日 /

要点チエック

(1) 次のそれぞれの組の漢字の成り立ちをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 河・花・星
- ② 日・月・山
- ③ 上・中・下
- ④ 炎・森・畑

- ア 象形文字
- イ 指事文字
- ウ 会意文字
- エ 形声文字

①
②
③
④

(2) 次のそれぞれの組の熟語の読み方をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 身分・場所
- ② 先手・役目
- ③ 教育・海岸
- ④ 青空・野原

- ア 音読み
- イ 訓読み
- ウ 重箱読み(音訓読み)
- エ 湯桶読み(訓音読み)

①
②
③
④

(3) 次のそれぞれの熟語の組み立てをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 国营
- ② 公私
- ③ 豊富
- ④ 読書
- ⑤ 良書

- ア 似た意味どうし
- イ 対義語どうし
- ウ 上が下をかざる
- エ 下から読むと意味がわかる
- オ 上が主語、下が述語

①
②
③
④
⑤

確認問題

1 次のそれぞれの組の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1)
 - ① 税金をオサめる。
 - ② 成功をオサめる。
 - ③ 国をオサめる。
 - ④ 学問をオサめる。
- (2)
 - ① 会社にツトめる。
 - ② 議長をツトめる。
 - ③ 解決にツトめる。

- (3)
 - ① 進路をタツ。
 - ② 消息をタツ。
 - ③ 生地をタツ。
- (4)
 - ① 青少年をタイショウとした書物。
 - ② 私と兄は性格がタイショウ的だ。
 - ③ 左右タイショウの図形。

(4)	(3)	(1)
①	①	①
	②	②
②	③	③
		④
		(2)
		①
		②
		③
③		

2 次の上の欄のそれぞれの漢字を()の中のように読む熟語を下欄から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 児(に)——(ア) 児童
 - (2) 納(な)——(ア) 出納
 - (3) 就(じゅ)——(ア) 就職
 - (4) 言(ごん)——(ア) 無言
 - (5) 外(げ)——(ア) 外国
 - (6) 名(みょう)——(ア) 名人
 - (7) 強(ごう)——(ア) 勉強
- イ 男児
 - ウ 小児
 - イ 納屋
 - ウ 納入
 - イ 成就
 - ウ 就任
 - イ 言行
 - ウ 発言
 - イ 外科
 - ウ 外形
 - イ 無名
 - ウ 功名
 - イ 強情
 - ウ 強制

- (8) 明 (みよう) — (ア) 明日 イ 明白 ウ 判明

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

3 次のそれぞれの漢字の①部首の名称と、②総画数を答えなさい。

- (1) 歌 (2) 階 (3) 街 (4) 額 (5) 究
- (6) 教 (7) 考 (8) 雑 (9) 複 (10) 発
- (11) 康 (12) 慣

(11)	(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②

4 次のことを漢字に直し、送りがないをつけなさい。

- (1) あやうい (2) うたがう (3) うけたまわる
- (4) いさぎよい (5) おぎなう (6) いちじるしい

(4)	(1)
(5)	(2)
(6)	(3)

練成問題

1 次のそれぞれの熟語の対義語をあとから一つずつ選び、漢字に直して答えなさい。

- (1) 複雑 (2) 権利 (3) 保守 (4) 容易
- (5) 収入 (6) 需要 (7) 拡大 (8) 子孫
- キ ヨウキユウ ギム コンナン ソセン
- シ シュツ シュクシヨウ カクシン タンジエン

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

2 次のそれぞれのことわざと意味のよく似ているものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 上手の手から水がもる (2) 遠火で手をあぶる
- (3) 泥棒を見て縄をなう (4) 弱り目にたたり目
- (5) 医者の不養生 (6) 馬鹿があつて利口が引き立つ
- (7) 提灯に釣り鐘 (8) 猫に小判

- ア 馬の耳に念仏 イ あとの祭り ウ 二階から目薬
- エ 泣き面に蜂 オ 月とすっぽん カ 紺屋の白袴
- キ 弘法にも筆の誤り ク 下手があるので上手が知れる

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

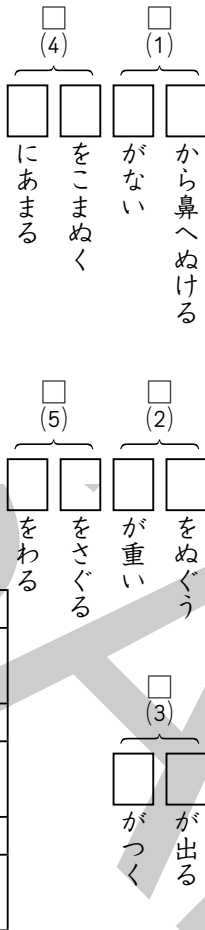
3 次のそれぞれの故事成語の意味として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 他山の石
- (2) 漁夫の利
- (3) 呉越同舟
- (4) 螢雪の功
- (5) 蛇足
- (6) 矛盾
- (7) 疑心暗鬼を生ず
- (8) 四面楚歌

- ア 疑いが生まれると何でもないことまでおそろしく感じられること。
- イ 仲の悪い者同士や敵味方が、たまたま同じ場所にいわせられること。
- ウ 他人の誤った言行や失敗の例をいましめとして自分に役立てること。
- エ 周囲が敵や反対者ばかりで、一人も味方や助けがないこと。
- オ あっても益もないむだなものをわざわざつけ足すこと。
- カ 苦学した成果、または、苦勞して学問にはげむこと。
- キ 当事者が争っている間に、第三者が利益を横取りすること。
- ク 前に言ったことと後に言ったこととがくいちがうこと。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

4 次のそれぞれの組の□には共通した体の部分を表す漢字が入ります。それを考えて答えなさい。(同じ漢字は二度使えない)



(4)	(1)
(5)	(2)
	(3)

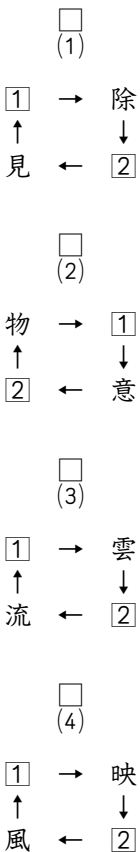
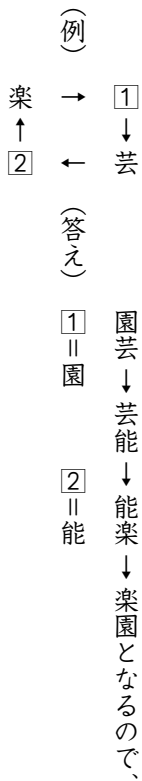
5 次のそれぞれのひらがなだけの文を、決められた字数の漢字とひらがなまじりの文に書き直しなさい。ただし句読点は字数に数えません。

□(1) あたらしいちかてつのかいつうしきがおこなわれました。(十七字)

□(2) こころよいかぜがみなみがわのまどからはいつてきます。(十六字)

□(3) うんどうごはてきとうにすいぶんをおぎないきましょう。(十六字)

6 次の例にならって、右回りのしりとりで二字熟語が四つできるように、それぞれの□に漢字一字を入れて答えなさい。



□(5)
→ ① ↓ 火
←
カ ↑ ②

(4)	(1)				
①	①				
		②	②		
				(5)	(2)
		①	①		
				②	②
					(3)
					①
					②

7 次のそれぞれの組の漢字に同じ部首をつけると、それぞれ別の漢字になります。(例) にならってその部首を答えなさい。

(例) 夜・永・立・谷 (答え) シ

□(1) 首・車・刀・米 □(2) 女・示・由・谷

□(3) 大・寸・古・木 □(4) 川・令・豆・原

□(5) 重・多・火・少

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

8 次の文章の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

前王が国外に ア ボウメイし、私が周囲に イ オされて新しい王になった。今

は国の立て直しが急務だ。まず、食糧不足を解消しなければいけない。 ウ コ

クモツは緊急輸入でまかなえているが、新鮮な青果や乳製品の エ キヨウキユ

ウは全国的に不安定だ。商品が店頭 オ ナラぶと、すぐに人がおし寄せるの

で、どの店でも客の行列を カ トトノえるのが大変らしい。そんな状況を早く

カイゼンしなければ。皆の期待に キ ソムくわけにはいかない。今日もその

食糧問題について大臣たちと会議を行う。実のところ、 ケ オカンがしてのど

が痛く、しゃべるだけでもつらいのだが、そんなことは言っていられない。

何とか元氣そうな コ コワイロを作って臨むとしよう。

カ	ア		
		キ	イ
		ク	ウ
		ケ	エ
		コ	オ

9 次のそれぞれの熟語とほぼ同じ意味のことばをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 突然 □(2) 故意 □(3) 横着 □(4) 断念 □(5) 平凡

□(6) 直接 □(7) 真剣 □(8) 前兆 □(9) 永久 □(10) 不面目

ア じかに イ 恥 ウ やにわに エ わざと

オ 本腰 カ 骨惜しみ キ 月並み ク とこしえ

ケ あきらめ コ きざし

(6)	(1)		
		(7)	(2)
		(8)	(3)
		(9)	(4)
		(10)	(5)

10 次のそれぞれの文の□に入る三字の熟語を、あとの漢字を組み合わせて作りなさい。ただし、同じ漢字は二度選ばれません。

□(1) この辺りには、まだ□が残っているから、小鳥が多い。

□(2) 優勝の喜びで、選手も観客も□になっていた。

□(3) ほぼ定員どおりに□なく人を集めることができた。

□(4) 断りもなしに帰るとは、□きわまる行動だ。

(天・不・木・有・足・非・林・常・頂・過・雑・識)

(4)	(1)		
		(2)	
		(3)	